

農業をもっとやさしく、もっと豊かに
ペプチドファーマーミング

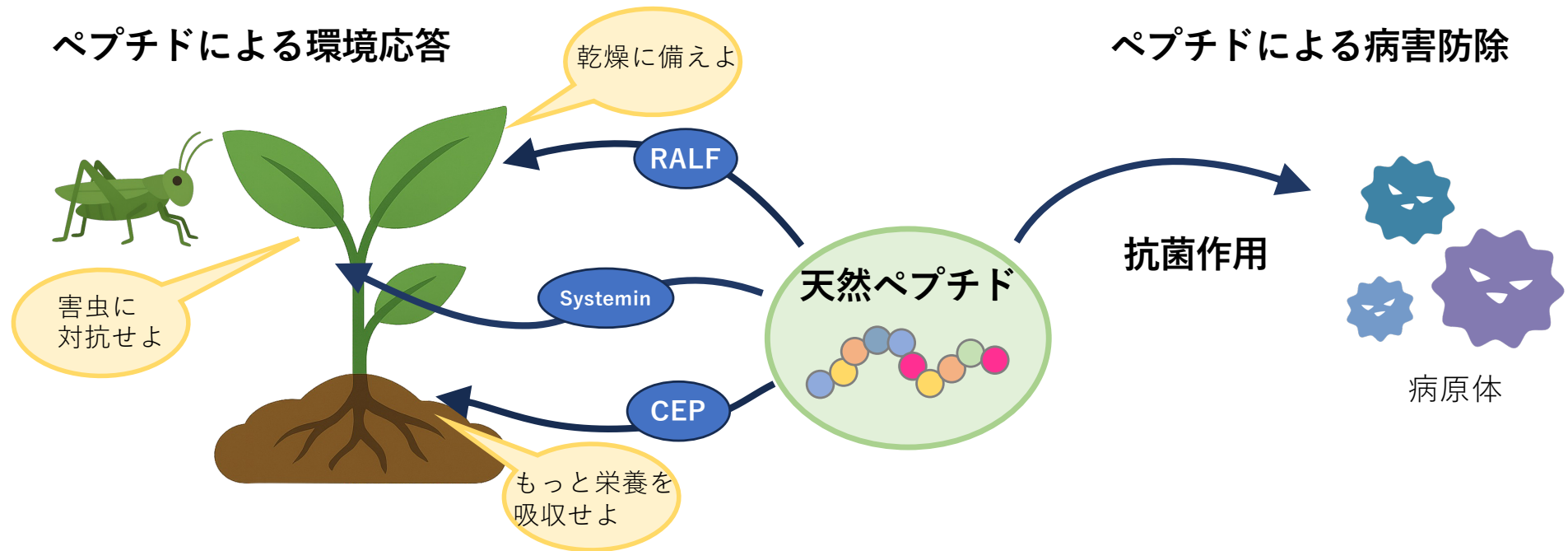
MEETUP CHUBU@STATION Ai

2025年10月16日

株式会社Craftide

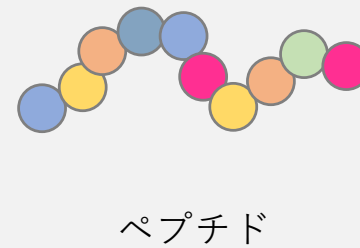
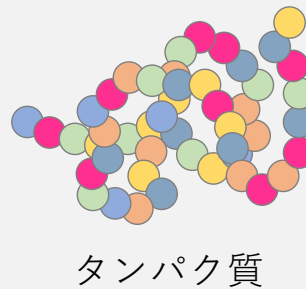
代表取締役 大石俊輔

植物で機能するペプチド



ペプチド

- タンパク質を小さくしたもの。
- 分解されるとアミノ酸になり、完全に無害。
- 分解されやすく、環境に残留しない。



分解



ソリューション: ペプチドファーミング

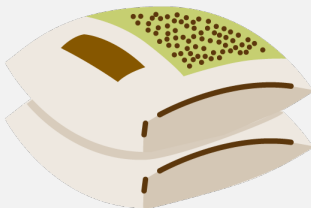
従来の農業

化学農薬

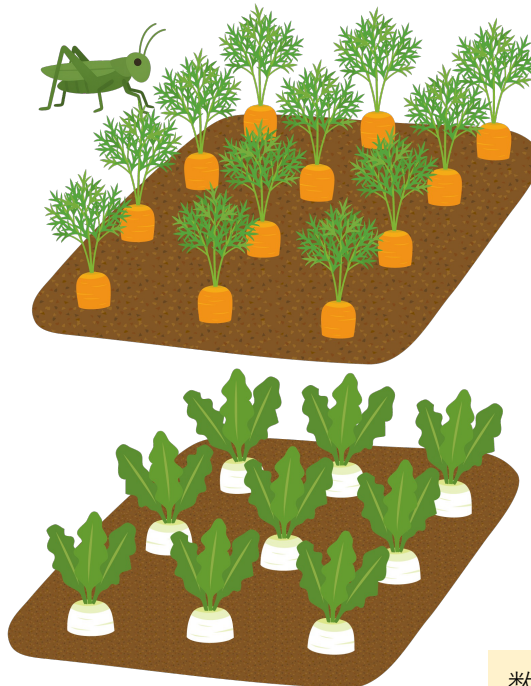


拡散・残留による環境への影響

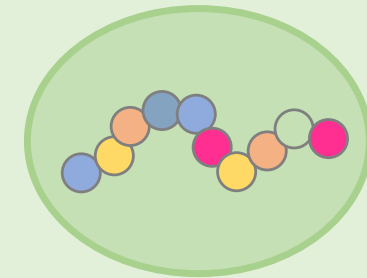
化学肥料



価格高騰
低い利用効率（30-50%）
地下水・河川の汚染



ペプチドファーミング



- ・ペプチド農薬：害虫、病害の防除
- ・栄養吸収促進剤 → 肥料の低減
- ・ペプチドによる環境ストレス耐性（耐暑性、乾燥耐性など）

数日以内に
自然に分解



拡散・残留による
環境リスクが小さい

「ペプチドで農業をもっとやさしく、もっと豊かに」

農業資材の開発タイムラインと収益モデル

